

安全就業だより

*事故の発生状況 令和2年11月末現在

今年、1920年頃にパンデミックになったスペインかぜ（日本でも死者38万人を出した）以来の厄災新型コロナウイルスにみまわれ新しい生活様式を求められ、まだ収束の見通しは立っていません。特にシルバー世代には厳しい環境となりますが、健康管理には十分気を付けられ安全作業に心掛けましょう。

シルバー事業	9～11月発生分	年度累計	前年同期発生分
傷害事故	2	6	0
賠償事故	2	7	1
その他事故	0	2	0
計	4	15	1

事故報告（9月～11月事故発生状況）



《賠償事故2件発生》

- ① 剪定作業中、高くなった庭木の枝を切断したとき塀の瓦を破損した。
⇒伐採する枝をロープで縛って誘導落下させる方法で失敗したため別の方法を検討する。
- ② 荒畑の除草作業中、チップソーで石を飛ばし隣接の工場に設置してあるエアコン屋外機冷却ユニット熱交換器のパイプを損傷した。
⇒除草作業場所で工場、住宅が隣接している時は、必ず防護ネットの徹底を指導した。



《傷害事故2件発生》

- ① 除草作業をやめて休憩しようとミニチェアに座ろうとしたとき腰を滑らせ尻餅をついた時、第5腰椎圧迫骨折となった。
⇒しっかり確認してから座るように指導しミニチェアも滑りやすいものだったので変更するよう提案した。
- ② 工場内で廃棄タイヤを回収する作業をしようと2人で車に乗り込んで出発したところ路面が悪くスリップしたため助手席の会員が降りて後ろから押していた時に、右足アキレス腱を断裂した。
⇒このようなケースでは無理をせず応援を頼むよう提案した。



剪定安全就業パトロールの実施報告



今年も剪定安全就業パトロールを行ないました。

全国的に重篤事故の大半が剪定作業時の落下事故です。①ヘルメットの完全着用と適正な作業服・履物の着装 ②脚立(三脚)の適切な設置 ③高い所での作業姿勢 等が安全パトロールのポイントとなります。各現場ではリーダーの指導が徹底され、安全作業をされていました。

会員就労先（訪問先）	北勢（個人宅）	員弁（個人宅）	大安（個人宅）	藤原（個人宅）
パトロール実施日	11月24日（火）	11月26日（木）	11月25日（水）	11月17日（木）

交通安全マナー研修 ◆ 交通安全のすすめ ◆

交通安全マナー研修が、11月17日(水)三重県交通安全研修センター（津市）で行われ、8名の方が参加されました。屋外体験では、狭路走行、スラローム走行、滑りやすい路面でのABSを機能させた状態及びABSを機能させない状態での急ブレーキを体験し、制動距離に大きな差が生じることを体験しました。高齢者の交通事故が多発しています。くれぐれも安全運転に心掛けましょう。

